

平成28年度

運営に関する
計画・自己評価

中間評価



評価基準

- A : 目標を上回って達成した
- B : 目標どおりに達成した
- C : 取り組んだが目標を達成できなかった
- D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

大阪市立三軒家西小学校

1 学校運営の中期目標

【視点 学力の向上】

- 保護者アンケートにおける「学校は基礎・基本を身につけ、進んで学習、課題解決に取り組む子どもを育てるように努力している」の肯定的な回答の割合を 90% 以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 児童アンケートにおける「自分の思いや考えを先生や友達にしっかりと話すことができる」の肯定的な回答の割合を 90% 以上にする。(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 保護者アンケートにおける「子どもは自分自身や友達、みんなで使うもの大切にする心や態度が育っている」の肯定的な回答の割合を 95% 以上にする。(マネジメント改革関連)
- 児童アンケートにおける「友達や生き物を大切にして過ごしている」の肯定的な回答の割合を 95% 以上にする。(学校サポート改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 保護者アンケートにおける「子どもは、遊びや体育の学習を通して進んで運動に親しみ、体力向上に努めている」の肯定的な回答の割合を 95% 以上にする。(カリキュラム改革関連)
- 児童アンケートにおける「遊びや体育の学習を通して進んで運動をしている」の肯定的な回答を 90% 以上にする。(カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 保護者アンケートにおける「学校は基礎・基本を身につけ、進んで学習、課題解決に取り組む子どもを育てるように努力している」の肯定的な回答の割合を **90%台を維持する。** (カリキュラム改革関連)
- 児童アンケートにおける「自分の思いや考えを先生や友達にしっかりと話すことができる」の肯定的な回答の割合を **昨年度より上回る。** (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 保護者アンケートにおける「子どもは自分自身や友達、みんなで使うもの大切にする心や態度が育っている」の肯定的な回答の割合を **90%台を維持する。** (マネジメント改革関連)
- 児童アンケートにおける「友達や生き物を大切にして過ごしている」の肯定的な回答の割合を **90%台を維持する。** (学校サポート改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 保護者アンケートにおける「子どもは、遊びや体育の学習を通して進んで運動に親しみ、体力向上に努めている」の肯定的な回答の割合を **昨年度を上回る。** (カリキュラム改革関連)
- 児童アンケートにおける「遊びや体育の学習を通して進んで運動をしている」の肯定的な回答を **昨年度を上回る。** (カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

A : よくあてはまる (2点)	B : あてはまる (1点)
C : あまりあてはまらない (-1点)	D : 全く、あてはまらない (-2点)

※個票のまとめ平均値が→ 1.5~2.0 は A , 0~1.4 は B ,
-1.5~0 は C , -2.0~-1.4 は D

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○保護者アンケートにおける「学校は基礎・基本を身につけ、進んで学習、課題解決に取り組む子どもを育てるように努力している」の肯定的な回答の割合を 90%台を維持する。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○児童アンケートにおける「自分の思いや考えを先生や友達にしっかりと話すことができる」の肯定的な回答の割合を 昨年度より上回る。 (カリキュラム改革関連)</p>	<p>H27 94% H28 前 95.4%</p> <p>H27 低 75% H28 前 低 82.4%</p> <p>高 76% 高 72.3%</p>

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【区分 言語力や論理的思考能力の育成】 読解・記述・コミュニケーション・読書活動などの多様な言語活動を学習活動に取り入れ、思考力・判断力・表現力をつける取組を進める。	(B) 1.1
指標 ：自分の考えや意見を書いたり、友だちと話したりする活動を取り入れた授業の割合を昨年度より増やすようにする。	
取組内容②【区分 楽しい学習、体験的な活動の充実】 各教科の特性にせまり、各学年に応じた体験的な学習や課題解決学習、 ICT機器を活用した学習 を積極的に取り入れる。	(B) 1.4
指標 ：自然体験や社会体験、ボランティア活動を、各学年、年3回以上取り入れ、学習計画を策定し、実施していく。	
取組内容③【区分 習熟度別少人数授業の充実】 個別指導やグループ指導、繰り返し指導を取り入れ、基礎・基本的な内容を確実に定着させ、学習の効率を高める。	(B) 1.3
指標 ：単元テストの正答率を 70%以上 にする。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
<p>①シンキングツールを活用したり、文に書いたりして自分の考えをまとめたものをもとに、ペア・グループ・全体での多様な形態の話し合い活動を取り入れた。それにより、表現する力を身についている。</p> <p>②年間計画に基づいて体験学習を取り入れ、学年の実態に応じて学びを深めている。また、ICT機器の整備も進み、指導に活用され始めている。</p> <p>③実態をつかみ、理解しにくい内容を重点的に指導したり、個に応じて指導したりしている。</p>
後期への改善点
<p>①シンキングツールの活用を進める。</p> <p>②ICT機器の使い方に慣れ、授業に取り入れていく。講師派遣による研修会2回目を、1月に実施予定。</p> <p>③子どもが苦手としていることを把握し、ていねいに指導を続けていく。</p>

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○保護者アンケートにおける「子どもは自分自身や友達、みんなで使うものを大切にする心や態度が育っている」の肯定的な回答の割合を 90%台を維持する。（マネジメント改革関連）</p> <p>○児童アンケートにおける「友達や生き物を大切にして過ごしている」の肯定的な回答の割合を 90%台を維持する。（学校サポート改革関連）</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>H27 低 87% H28 前 低 92.1% 高 93% 高 89.4%</p>	進捗状況
<p>取組内容①【区分 防災教育の推進】</p> <p>地域や幼稚園、消防署と連携した防災訓練を実施する。</p> <p>指標：防災訓練や防災に関わる学習を年5回以上実施する。</p>	(A) 1.5
<p>取組内容②【区分 キャリア教育の推進】</p> <p>ゲストティーチャーや体験活動を取り入れたキャリア教育の指導計画を立てて実施する。</p> <p>指標：各学年の指導計画通り実践する。</p>	(B) 1.3
<p>取組内容③【区分 道徳教育の推進】</p> <p>年間指導計画に基づいて道徳の時間を確保し、学習指導要領に提示されている内容項目を偏りなく指導する。</p> <p>指標：年間指導計画に基づき、内容項目の「自尊感情を育てる」に重点を置いた学習指導を実施する。</p>	(B) 1.2

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
<p>① 消防署・警察署を始めとし、区役所や危機管理室等の機関と連携して、様々な場面に対応する訓練学習を計画的に行うことができた。浸水体験や防災グッズ作り等、新しい体験活動も取り入れ、子ども達の意識を高めることができている。</p> <p>② 地域の方の協力、各機関とのつながりを生かし、様々な分野のゲストティーチャーに来て頂くことができ、体験談やお話を聞いたり、子ども達が体験したりすることを通して、多様な人々、仕事、考え方等を知ることができている。</p> <p>③ 年間指導計画に基づき、学級の実態に応じた指導を行っている。</p>

後期への改善点
<p>① 訓練や学習を通して、避難の仕方や、各自の取るべき行動を振り返り、改善するところや新たな課題を見つける時間を設けるようにする。</p> <p>② 計画の更新、引き継ぎを行う。</p> <p>③ 学校行事や学級活動等、あらゆる教育活動を通して、達成感が得られるような活動をしたり、がんばりや良さを認め合ったりする機会を設けて自尊感情を育っていくようにする。</p>

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○保護者アンケートにおける「子どもは、遊びや体育の学習を通して進んで運動に親しみ、体力向上に努めている」の肯定的な回答の割合で昨年度を上回る。（カリキュラム改革関連）</p> <p>○児童アンケートにおける「遊びや体育の学習を通して進んで運動をしている」の肯定的な回答の割合で昨年度を上回る。（カリキュラム改革関連）</p>	<p>H27 86% H28 前 88.5%</p> <p>H27 低 93% H28 前 低 92.1%</p> <p>高 81% 高 76.6%</p>
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【区分 体力向上への支援】</p> <p>全校チャレンジタイム（仮称）〈水泳・ジャンピングウィーク・ランニングウィーク〉を設け、がんばりカードを作成する。また、各学級での全体遊びを取り入れ、進んで体力づくりに取り組むようにする。</p>	<p>(B) 1.3</p>
指標：体力向上における活動を体育科、休み時間、集会などで実施する。	
<p>取組内容②【区分 健康な生活習慣の確立】</p> <p>爪やハンカチ・ティッシュの携帯を指導し、清潔検査を実施する。</p> <p>外から帰って来た後、給食前後、そうじの後の手洗い・うがいの習慣が身につくように指導する。</p>	<p>(B) 1.0</p>
指標：清潔検査の結果や手洗い・うがいのアンケート結果の集計分析を行い、「できた」の割合で 昨年度を上回る 。	
<p>取組内容③【区分 食育】</p> <p>食に関する指導の全体計画を作成し、栄養職員と連携して指導すると共に給食時の食べ物もの知りタイムを活用する。</p>	<p>(A) 1.5</p>
指標：食に関する指導の全体計画を作成し、計画に則った指導を実施する。	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
<p>① 水泳の学習では、すいすいカードを活用することで、目標をもって取り組むことができた。休み時間には、学級全体で遊んだり、竹馬や一輪車などの練習をしたり、体力の向上を図ることができた。</p> <p>② ハンカチ・ティッシュの携帯は定着してきているが、忘れる児童が固定されている。手洗いは習慣化されている。H28 前（給食前 91%、掃除後 90%、外遊びの後 86%、トイレの後 83%）</p> <p>③ 食に関する指導の全体計画に則った指導を実践している。</p>

後期への改善点
<p>① より目標を意識して取り組めるようすいすいカードの使い方を検討していく。昨年度の振り返りを生かし、ジャンピングウィークやランニングウィークを実践し、体力の向上を図っていく。</p> <p>② ハンカチ・ティッシュの所持や手洗い・うがい（特に掃除の後ができるない）について児童朝会で呼びかけたり、家庭との連携に努めたりして、習慣が身に付くようにしていく。</p> <p>③ 引き続き食に関する指導の全体計画に則った指導を実践していく。</p>